



冷たい雨が降っていても

今年最後の多摩川調査は、雨に降られながらの実施となりました。

本調査は、基本的に大潮の干潮付近のなるべく潮が引くタイミングで行っています。冬は夜に潮が大きく引くため、今回はあまり潮が引いていないなかで、実施することになりました。

難しい条件のなか、どんな生き物が見られたか、今月の調査結果をお伝えいたします

今月のおさかな



冬の訪れを告げるアユ

今回の地曳網では、全長1～3cmほどのひよろひよろとしたアユの仔稚魚が多く入りました。アユは、年魚と呼ばれ、1年で一生を終える魚です。夏の終わりから秋に川で産卵し、孵化するとすぐに海に下ります。その後、少し大きくなった段階が今回採れた個体です。これから冬の間、見られることが期待されます！

ほかには、マハゼとアシシロハゼが1個体、アミ類がとれました。

今月の人気者



アカエイ

今回、人気だったのはアカエイです。浅瀬でじっとしているのを見つけて、参加者一同で囲んで観察してしまいました。大物で見ごたえがあるアカエイですが、尾には有毒のトゲがあります。泥のなかに隠れているアカエイを気づかずに踏んでしまうと、大ケガにつながります。私たちが、皆さんも気をつけましょう。